

エコのことなら
僕にお任せ！



「とうかい環境村民会議」だより

Vol.19

環境活動を通じて、持続可能な社会の実現を目指す“エコレンジャー”——それが私たち「とうかい環境村民会議」です！ 私たちの活動をシリーズで紹介していきます。

【問い合わせ】環境政策課環境計画・緑化推進担当(☎282-1711 内線1454)



「三ツ又沼ビオトープ」の視察に行ってきました

自然共生社会部会

自然共生社会部会では、現在、総合福祉センター「絆」北側緑地の利用方法を検討するため、ワークショップなどを開き、話し合いを進めています。その一環として10月8日、部会員を中心とする参加者19人が、埼玉県上尾市・川越市・川島町の境にある「三ツ又沼ビオトープ」を視察しました。茨城県環境アドバイザーの廣瀬誠さんから、三ツ又沼ビオトープの歴史や生き物等についての事前説明を受けながら、目的地へと向かい約2時間で到着。現地では、荒川上流河川事務所の方が出迎えてくれました。



三ツ又沼ビオトープは13ヘクタールの広さがあり、河川工事により、以前は川だった部分に沼が残ったものです。周りにはハンノキ・ヤナギ・コナラ・クヌギ林等が点在し、訪れた方が木道で散策できるようになっていました。河川事務所の方が一緒に回りながら、沼や林のそれぞれの場所で管理・運営方法等について説明し、私たちの質問に丁寧に答えてくれました。



沼はそれほど大きくはなく、木道から離れているため近くで見ることができず、季節柄、虫や鳥もあまり見られませんでした。参考になる点(下表参照)も多く、有意義な視察となりました。

今回の視察には、行政からの参加者も多く、自然を見る目に村民との共通点を見出すことができたように思います。今後も村民と行政が協力し合いながら、総合福祉センター「絆」北側緑地の整備活動等に活かしていきたいと思っています。



こんな取り組みをしているんだって！

- セイタカアワダチソウ等の外来種を積極的に引き抜き、在来種の種をまいて育成している。
- 小中学生がハンノキを種から育て植樹している。
- 整備活動に規定回数参加した方が市民環境サポーターに認定され、保全管理メンバーに加わっている。
- 外来種除去や在来種の植え付けなどの活動の一部を、自然観察会とセットのイベントとして実施している。



ごみ問題に取り組むために！ アンケート調査を実施しました

生活環境部会

生活環境部会では現在、ごみの捨て方などマナー面の問題や、ごみステーション確保など生活に密着した課題の多い「ごみ問題」に取り組んでいます。解決策を見出すためにまず重要なのは、先進事例の調査や村内における問題点の整理であると考え、生活環境部会では、このたび村内各地区ごとのごみ問題の現状を知るために、とうかい環境村民会議全会員を対象としたアンケート調査を実施しました。アンケート調査の結果については、後日、「『とうかい環境村民会議』だより」でお知らせします。